

3 キャリア教育の充実

学校教育法では、義務教育の目標の一つとして「職業についての基礎的な知識と技能、勤労を重んずる態度及び個性に応じて将来の進路を選択する能力を養うこと」が定められ、小学校からの体系的なキャリア教育実践に対する法的根拠が示されています。各学校においては、学校で学ぶことと社会との接続を意識させ、一人一人の社会的・職業的自立に向けて必要な基盤となる資質・能力を育むなど、キャリア発達を促すキャリア教育の充実を図ることが重要です。

I 基礎的・汎用的能力の育成

身に付けさせたい資質・能力の中核となるのは、「人間関係形成・社会形成能力」「自己理解・自己管理能力」「課題対応能力」「キャリアプランニング能力」の4つの能力によって構成される基礎的・汎用的能力です。4つの能力は、相互に関連・依存した関係にあり、これらの能力をすべての者が同じ程度あるいは均一に身に付けることを前提に構想されたものではありません。

また、これらの能力をどのようなまとまりで、どの程度身に付けさせるかは、学校や地域の特色や発達の段階によって異なることから、各学校においては、4つの能力を参考にしつつ、それぞれの課題を踏まえて具体的な能力を設定し、工夫された教育を通じて達成することが大切です。

時期	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
重点化する基礎的・汎用的能力	自己理解・自己管理能力	人間関係形成・社会形成能力	課題対応能力	キャリアプランニング能力
具体的な能力	他者との関わりを通して、自己を見つめ、個性の伸長を図ることができるようにする。	自分の考えや気持ちを他者に分かりやすく伝えることができるようにする。	分からないことやもっと知りたいことは、自分で調べたり他者に聞いたりで解決することができるようにする。	人の役に立つために、何事にも進んで取り組むことができるようにする。
学年テーマ	みんなちがってみんないい	自分からキャッチボールはじめてみよう!	新たな道(未知)を切り拓こう!	今ある力を誰かのために

【学校の課題を踏まえた具体的な能力の設定例】

II キャリア・パスポートの活用

キャリア教育に関する指導では、学校、家庭及び地域における学習や生活の見通しを立て、学んだことを振り返りながら、新たな学習や生活への意欲につながり、将来の生き方を考えたりする活動を行う必要があります。その際、児童生徒が活動を記録し蓄積することができる「キャリア・パスポート」の活用が大切です。

「キャリア・パスポート」については、特別活動を中心としつつ、各教科等と往還しながら活用されることで、学びを蓄積し、それを社会や将来につなぎ、必要に応じて振り返ることにより、主体的に学びに向かう力を育て、自己のキャリア形成に生かすことが可能となるとともに、特別活動や各教科等における授業改善につながることも期待されます。

III キャリア・カウンセリングによる働きかけ

「キャリア・パスポート」の活用にあたっては、記録や蓄積に加え、教員が対話的に関わる「キャリア・カウンセリング」の視点が大切であり、児童生徒にとっては自己理解、教師にとっては児童生徒理解を深めることが期待されます。

具体的には、教師が児童生徒の思いや考えを引き出すよう意図して問いかけ、耳を傾けて受け止めながら聞くほか、児童生徒同士に話をさせる前後に自他の違いについて気づきを促し、話を深めるなど、手掛かりを示すことが考えられます。

「キャリア・カウンセリング」は、専門家に委ねることや、面接や面談の場に限ったものではなく教師が意図を持った児童生徒との日常的な「対話」「言葉かけ」を含めたものであり、日常生活で児童生徒の「気づき」を促し、主体的に考えさせ、児童生徒の行動や意識の変容につなげることを目的に働きかけることが大切です。

○ 「キャリア・カウンセリング」の事例

〔中学生Aさんの定期考査前のキャリア・パスポートの記述〕

昨日は久しぶりにバスケットボール部の練習がなかったので、B君と夕方まで遊びました。夜は前から楽しみにしていたテレビ番組を見ました。とても楽しかったです。



【『キャリア・カウンセリング』の視点】

なぜ勉強をするのかについて、好きなこと、やりたいことを認めつつ、それと学習を関連付けて語るようにする。思いきり遊べるAさんなら、思いきり勉強もできると考え、Aさんの行動をつなげるようにする。一見やる気がないように見られる行動も否定せず、子どもたちの目標や今後の学習にも役立つこととして位置付け直す視点を示し、より望ましい行動を促す。

〔教師によるキャリア・パスポートへの記述〕

Aさんはいつも部活動を頑張っていますね。部活動がないよきに思い切り羽を伸ばせて良かったですね。ただ、定期考査一週間前なので、先生は勉強もしてほしいです。好きなバスケットボールに関わる仕事をしたいという大切な夢をかなえるために、思いきり勉強するのも必要ですね。持ち前の集中力と粘りを勉強でも発揮すれば、きっと夢にまた一歩近づくはずですよ。



【参考資料】

・小学校キャリア教育の手引き
(令和4年3月 文部科学省)



・「語る」「語らせる」「語り合わせる」で変える！キャリア教育 (平成28年3月 国立教育政策研究所)

